

主催：筑波大学数学教育研究室
共催：東京学芸大学 IMPULSプロジェクト
後援：公益社団法人・日本数学教育学会

数学教育国際コロキウム2015

講演

算数・数学の授業で本当に重要なものは何か？

日本とアメリカの共通理解は何か、また両者はどこが違うのか

What really matters in mathematics classrooms?

Where are Japan and the U.S. "on the same page," and where do we differ?

カリフォルニア大学バークレイ校教授
アラン H. シェーンフェルド博士
(Dr. Alan H. Schoenfeld)

日時：平成27年6月20日（土）14：30～17：00

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎・134講義室

講師のご紹介

アランシェーンフェルド教授は、数学の問題解決に関する研究で世界的に著名な研究者です。全米教育学会(AERA)の元会長で、数学教育国際委員会 ICMI のクラインメダル受賞者でもあります。主たる研究領域は、数学的問題解決、文化と認知、アセスメント、教授・学習のモデル等多岐にわたります。主要な著書には、次のようなものがあります。

Schoenfeld, A. H. (1985) *Mathematical Problem Solving*. Orlando, FL: Academic Press.

Schoenfeld, A. H. (Ed.) (1994) *Mathematical Thinking and Problem Solving*. LEA.

Schoenfeld, A. H. (2007) Method. In F. Lester (Ed.), *Handbook of Research on Mathematics Teaching and Learning (second edition)*. Information Age Publishing.

Schoenfeld, A. H. (2010) *How We Think*. Routledge.

今回、東京学芸大学IMPULSプロジェクトのために来日される機会に、ご講演とそれに基づく討議をお願いすることができました。皆様のご参加をお待ちしています。

参加費無料。希望者は筑波大学数学教育研究室 (mathedu@human.tsukuba.ac.jp) までご連絡下さい。